

# 幸消防団だより

第65号

令和4年2月発行  
川崎市幸消防団  
団長 高橋 克明  
広報委員会編集

## 新春の挨拶

幸消防団 団長 高橋 克明



希望にあふれる令和4年の新春を迎え、心よりお喜びを申し上げます。

団員の皆様には、平素から郷土愛の使命を胸に、消防団活動に対し熱心に取り組まれ、区民の安全・安心を守るため御尽力を頂いておりますことに敬意を表し、深く感謝を申し上げます。

令和4年幸地区消防出初式は、感染症拡大防止のため規模を大幅に縮小したものの、消防職団員、消防関係団体、消防協力者へ感謝・慰労の気持ちをお伝えするため表彰式を執り行いました。御臨席いただいた皆様、そして日頃から関係団体の皆様の御支援、御協力により、無事挙行できましたことに厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、大阪市北区で発生したビル火災、列車の火災発生など、社会的にも影響が大きく、皆様の記憶にも強く残る災害がございました。また、自然災害では、熱海市伊豆山土砂災害、震度5強・5弱という大きな地震など、自然の猛威が揮われております。

一方、全国的な課題となっております消防団員の確保対策として、積極的な広報活動を展開してまいりますので、市民や企業等の皆様におかれましては消防団活動について、より一層の御理解と御協力を頂けますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆様の益々の御健勝と御多幸を御祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

## 輝かしい新年を迎えて

幸消防署 署長 望月 廣太郎



令和4年の輝かしい新春を迎え、心よりお喜びを申し上げます。

団員の皆様、御家族の皆様には、平素から消防行政の円滑な推進に格別の御支援と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、令和4年幸地区消防出初式は、新型コロナウイルス感染症対策により、規模を縮小し表彰式のみとなりましたが、幸消防団をはじめ関係団体の皆様の御協力と御支援を賜り、無事に挙行できましたことについて深く感謝申し上げます。

さて、昨年は8月に小田急線、10月に京王線において無差別刺傷事件が発生し、多数の乗客が襲われました。12月には大阪市北区で発生したビル火災により、理不尽にも多くの尊い命が失われております。

一方では、全国的に大規模な自然災害による被害が発生し、とり分け全国各地で豪雨による風災害による被害が甚大でした。静岡県熱海市での大規模な土石流災害には、当消防署からも多くの職員を現場に派遣したところでした。更に、今後危惧されます南海トラフ巨大地震や首都直下型地震等の大規模災害など、コロナ禍においても様々な災害に備えていくことが喫緊の課題となります。

こうした状況を踏まえ、消防署としては、消防団、区役所、警察等の行政機関と一層の連携を図り、区民の皆様の生命、財産をあらゆる災害から守るため、総力を挙げて邁進する決意でございますので、区民の皆様におかれましては、災害に備えた対応力を育てていただきたいと思います。

結びにあたり、皆様の益々の御健勝と御多幸を御祈念申し上げ新年の挨拶とさせていただきます。



新春恒例の消防出初式が令和4年1月9日(日)に幸消防署・講堂にて新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して開催しました。

第1分団

第2分団



第3分団

第4分団



撮影時に、一時的にマスクを外している写真を使用しています。

# 新年の抱負

消防団  
三原則  
一、隣保共助  
二、郷土愛護  
三、犠牲奉公



## 第1分団 分団長 生方 清

新年明けましておめでとうございます。昨年度、第1分団管轄は大きな災害もなく一安心しております。これも皆様方の防火・防災意識の高さの賜物であると思っております。

さて、昨年は東京オリンピックが開催され、多くのアスリートから感動をいただきました。中でも私は10代や20代前半の若い人達の活躍に感心させられました。勝敗に関係なくお互いを称え競技そのものを楽しむ姿は本当に素晴らしいと思いました。私も消防活動を心から楽しみたいと思います。

新型コロナウイルス感染症はまだまだ終息の兆しはありませんが、わが第1分団一同は、南河原地区の安全のためにいつでも出場できるよう備えてまいります。どうか今年もよろしく願いいたします。

## 第2分団 分団長 吉岡 雅之



新年明けましておめでとうございます。地域の皆様におかれましては、平素より消防団活動に御協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

第2分団では、昨年は若手の新入団員を4名迎え、一層の活気を持って新年を迎えることが出来ました。

本年は、昨今の多発する自然災害とその被害を省みて、火災のみならず自然災害への対応力もより高めていくべく、消防団としての意識を高めるとともに、全団員が一丸となって訓練を重ねてまいり所存でございます。

地域の皆様の安全と安心のため、本年も地域の防火防災へより尽力してまいりますので、今後とも第2分団の活動に御理解と御協力を賜りたく、何卒宜しく願い申し上げます。



## 第3分団 分団長 成川 秀幸

新年おめでとうございます。私達第3分団は、塚越・新塚越・下平間・古市場・古川地区を担当する消防団です。

昨年は3名の新入団員を迎え、地域のために活躍できるよう訓練に励んでいます。

新型コロナウイルス感染症予防のため、いろいろな行事が中止となっています。感染症がはやく収束して、以前のように地域の皆様と活動できる日が早く来てほしいと思います。

今年も地域にみなさまと一緒に取り組んでまいりますので、これからも、第3分団に、御指導いただくとともに、応援していただけると幸いです。よろしく願いいたします。

## 第4分団 分団長 岩瀬 宏



新年おめでとうございます。私達第4分団は、幸区の中で最も大きい地区である、日吉地区（北加瀬、南加瀬、小倉、鹿島田）を担当する消防団です。

昨年は4名の新入団員を迎え、地域の安心・安全を確保できるよう、新旧メンバー交えてコロナ禍でも定期的に訓練に励んでおります。

今年も地域の皆様の安全を守るために、今後想定される各種災害に備え、私達消防団が有事の際にいち早く役に立てるように団員の結束を確かにして行きますので、皆様に、応援していただけると幸いです。

【神奈川県知事表彰】

- 永年勤続功労消防団員 (勤続20年)
  - 第1分団 副分団長 木村 雅子
  - 第1分団 団員 大野 悟
  - 第2分団 副分団長 坂井 幸一
  - 第2分団 部長 矢島 俊幸
  - 第3分団 班長 三原 幸子
  - 第4分団 部長 高口 久
  - 第4分団 班長 小森 照美
  - 第4分団 団員 市川 美代子



【消防団長表彰】

- 優良消防団員
  - 第1分団 団員 高梨 昇
  - 第2分団 団員 内山 正樹
  - 第3分団 団員 久万 晃平
  - 第4分団 班長 斉藤 裕也

【川崎市長表彰】

- 永年勤続功労消防団員 (勤続15年)
  - 第2分団 班長 那須 尚之
  - 第2分団 団員 南雲 真知子



- 優良消防団員家族
  - 本団 高橋団長夫人 高橋 和子 様

- 優良消防分団
  - 第2分団

●退職消防団員功労者

- 元本団 副団長 上田 常晴 様
- 元本団 警護部長 松井 満 様
- 元第2分団 副分団長 新田 利幸 様
- 元第4分団 副分団長 齋木 美浩 様

- 優秀消防分団
  - 第2分団

受章おめでとうございます

叙勲・褒章受章

- 令和2年春 瑞宝単光章
  - 元本団副団長 佐伯 正夫 様
- 令和2年春 藍綬褒章
  - 本団消防部長 中村 泰司 様
  - (現庶務部長)
- 令和2年秋 瑞宝単光章
  - 元第4分団副分団長 梶 容夫 様
- 令和3年春 瑞宝単光章
  - 元本団警護部長 後藤 重春 様
- 令和3年春 藍綬褒章
  - 本団副団長 中西 善博 様



令和3年度 幸消防団活動状況 (主なもの)



6月6日に行われた水防訓練の様子

令和3年

- 4月11日 ポンプ性能検査
- 6月6日 水防訓練
- 7月25日 警防技術基礎訓練
- 9月5日 新入団員研修
- 10月3日 震災初動対応訓練
- 10月20日 神奈川県殉職消防職団員慰霊祭
- 11月7日 救急救命・応急処置講座
- 11月8日 爆弾テロ対応合同訓練
- 12月4日 資機材取扱研修
- 12月12日 要援護者対応訓練
- 12月26日 年末火災特別警備

令和4年

- 1月9日 幸地区消防出初式

編集後記

幸消防団だより六十五号をお届けします。発行に当り、関係各位の御寄稿に深く感謝致します。

- 発行責任者 高橋 克明
- 編集 幸消防団広報委員会
- 広報部長 西田 治
- 第1分団 菅 雅之
- 第2分団 堀 朋子
- 第3分団 遠藤 盛春
- 第4分団 菅原 幸恵
- 青木 真弓

消防団員募集

資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人

- ・特別職の公務員として活動中の負傷などは公務災害として補償されます。
- ・班長以上の階級に3年以上在職した団員は防火管理者の資格を得ることができます。

問い合わせ先 幸消防署予防課消防団担当

TEL: 044-511-0119 FAX: 044-544-0119